

早稲田大學東洋哲學會大會の御案内

拜啓 新緑が目染みる時節となりました。お變わりなくお過ごしでしょうか。
さて、早稲田大學東洋哲學會第三十八回大會を、左記の通り開催致しますので、
なにとぞ御参加賜りますようお願い申し上げます。

敬具

令和三年 五月六日

早稲田大學東洋哲學會

各位

記

早稲田大學東洋哲學會 第三十八回大會

〈日時〉 六月十二日（土曜日）午後一時より

〈会場〉 Zoomミーティング

〈プログラム〉

○ 研究発表（午後一時より）

一、『大日經疏』における戒の異稱について

早稲田大學大学院博士後期課程 山尾 宥勝

一、天觀念から見る李贄童心説と羅汝芳の赤子の心の比較

早稲田大學大学院博士後期課程 及川 伶央

一、彌勒・彌陀信仰よりみる法華懺法の實修と次第の確立

早稲田大學助手・早稲田大學大学院博士後期課程 矢島 礼迪

一、『阿毘達磨大毘婆沙論』における有漏法と無漏法…

説一切有部の佛身有漏説から抽出されるその発展のモデル

早稲田大學助手 藤本 庸裕

一、程顥、程頤の「理」、「性」、「命」の思想―王安石の「性命之理」との對立から―

東京都公立學校期限付任用教員 田村 有見恵

○ 講 演（午後四時より） ※ 東洋哲学コース共催

一、龍樹における存在と言語

龍谷大學世界佛教文化研究センター・研究フェロー

財團法人佛教傳道協會・理事長 桂 紹隆

○ 總會（午後五時三十分より）

○ 懇親會

本年度は中止致します。

【追記】

※ 大會當日の御連絡は、早稲田大學東洋哲学研究室 (waseda.totetsu@gmail.com) までお願い致します。